

平成20年度

事業報告書

調布市武者小路実篤記念館運営事業団

調布市武者小路実篤記念館運営事業団

＜平成20度事業報告＞ 要旨

調布市武者小路実篤記念館は昭和60年10月に開館してから23年目となり、この間、平成4年1月に当事業団が設立されてからは、調布市武者小路実篤記念館の事業活動全般を担い、武者小路実篤の業績を顕彰するとともに、現代において彼の作品や活動の魅力を改めて見直し広く普及する事業を展開し、各方面から高い評価をいただいております。

平成20年度は、引き続き調布市教育委員会からの受託事業を中心として、開館から今日まで蓄積してきた展示・普及、収集・保存、調査・研究活動をとおして得られた成果と信頼をもとに事業を進めました。そして、作品・資料や情報の適切な管理と有効な活用をはかるとともに、記念館の機能を十分活用し、来館者の要望を取り入れながら、特色ある教育施設や地域の芸術・文化の拠点としての役割を担うべく多彩な事業を展開しました。

当事業団の運営にあたっては、事務事業の強化を計り、設置理念、事業内容の充実を達成するために、規定等の整備を行うとともに、必要な組織、効率的かつ円滑な運営面のあり方を、各方面の協力を得ながら検討してまいりました。

また、公益法人会計に準拠した会計方式を取り入れ、財務情報の透明化を図り、事業内容や効率性をわかりやすく公表するように引き続き努め、運営状況をホームページ上で公開いたしました。

＜展示事業＞ 「展示事業」は事業の中心であり、春の特別展「実篤 美術への眼差し」を、秋の特別展「新しき村90年」を開催し、各方面より好評をいただきました。また、6回の企画展では、幅広い武者小路実篤の活動を紹介してゆくために多角的なテーマを設け、あわせて実篤記念館の充実した収蔵品を紹介する展覧会を開催しました。

さらに、調布市文化会館たづくりにおいて、特別展「新しき村90年」の関連事業として(財)新しき村と共催で「新しき村美術展」を開催し、より多くの人に武者小路実篤、新しき村を知っていただく機会といたしました。

展示や施設に関するアンケートを実施し、来館者の意見を取り入れ、満足度の高い事業を提供するべく努めました。

＜普及事業＞ 「普及事業」では、恒例となった「実篤に挑戦」（絵画制作会）をはじめ、多くの応募が寄せられている「本を作る」講座、読書会、美術講座、自然観察会、朗読会を開催し、内容の充実に努めました。幅広い世代に対し良質な事業を提供し、身近で、親しみのある教育、文化・芸術の場、市民の誇りとなるような事業展開を心がけました。また、事業の充実が望まれる講座については、参加者に応分の負担をしていただく運営方法で取り組みました。

さらに、地域連携事業では、桐朋学園大学音楽部などの協力を得て、コンサートを開催し、回を重ねるごとに来館者、リピーターが増える好評なものとなりました。

学校教育との連携事業では、市内小・中学校に実篤に関する資料・情報を作成し提供し、職場体験の受入れなどを引き続き進めました。また、実篤記念館が持つ文学、美術、自然、情報など様々な要素を活用して、小・中学生を対象とした「調べ学習」「創作」「芸術鑑賞」を中心としたキッズプログラムの充実に取り組み、実篤や記念館に親しむ機会を増やし、子供たちが多様な体験を通して感性を磨き、自身で考える力、豊かな心を育む事業を進めました。

協力ボランティア活動は、普及事業への協力や広報資料の送付、他館より送付された図録資料の整理、実篤公園の草花調査、草木の育成、手入れ作業と活動の幅が広がり、記念館の事業展開に大きな役割を果たすまでとなり、市民、地域との連携を担う事業となりました。20年度は新たに、協力ボランティアによるガイドツアーを定期的に実施し、また、活動を充実させるために、関連美術館の見学、文化財の害虫について学ぶ研修を実施しました。

記念館の事業活動をより多くの方々に知っていただくために、ホームページを活用し、広報や事業記録としての役割を担う「館報」の内容をより充実させるとともに、各方面への積極的な広報活動を行い、各種取材への対応をしました。

＜資料の収集・保存事業＞ 「資料収集」では、実篤記念館が事業の充実を図るために必要に応じて美術作品、原稿、書簡類、図書など関係資料を収集しており、事業団では引き続き収集に関する各種情報を集め実篤記念館へ購入の提案をしました。

「資料の整理・保存」事業では、収集された作品・資料を速やかに整理し、収蔵品データベースへの入力作業を進め、良好な状態で保存し、後世に貴重な作品・資料を伝えるように努めました。さらに、収蔵作品・資料の適切な保存・

管理を図るために、保存・記録作業のほか、作品修復、資料の複製制作を計画的に実施しました。

旧実篤邸燻蒸作業においては、旧邸内にある資料の状態の把握に努めるとともに、作業後の各室の清掃に協力しました。

＜閲覧・情報公開事業＞ 「閲覧」業務では、開架図書を中心とする閲覧業務、レファレンス業務のほか、展覧会や事業にあわせた図書紹介など、資料の活用促進を計り、利用者の窓口としてサービスの充実に努めました。

「情報公開」事業では、コンテンツや情報の充実に努め、収蔵品情報やより多くの方々に事業や実篤関連情報、事業記録など知っていただくために、収蔵品データベース、情報提供システムの運用を引き続き進めました。

＜調査・研究事業＞ 「調査・研究」活動では、特別展関連及び収蔵資料の調査を実施し、これまでの調査で得た情報を活用し、他の文学館、美術館や研究機関との協力を得ながら、「武者小路実篤、白樺、新しき村」に関する情報センターとしての役割を担うべく、調査・研究活動を進めました。

＜その他事業＞ 友の会は、記念館と来館者を結ぶ組織であり、会員の増強と一層の充実に努め、会員に関連情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行するほか、ミュージアム・ショップの運営や、友の会主催事業を実施し、また、記念館事業を側面から支援しました。当事業団は、友の会の事務局を担当しました。

20年度には、これまで友の会が行ってきた物販事業を、会計の透明化、収益を自主事業の充実に活用するために、平成21年4月1日より事業団へ移行するための準備作業を実施しました。

また、自主財源を確保するために、記念館隣接道路に設置された案内掲示板の広告料収入を得たほか、平成21年4月より都内の美術館・博物館等入場券&割引券「ぐるっとパス2009」事業を市より受託するために、関係部署との協議、準備作業を行いました。

調布市武者小路実篤記念館運営事業団
【平成20年度 事業報告】

1. 入館状況 詳細、別紙1 「使用状況」のとおり
2. 展示事業 詳細、別紙2-1「展示事業」のとおり ※
3. 普及事業 ※
 - (1) 講座・講演会等 詳細、別紙2-2(1)(2)のとおり
年間 22件37回開催
・年代を問わず、様々な角度から武者小路実篤、実篤記念館や公園を知るきっかけづくりを中心とした講座、講演会等を開催。
・地域連携事業
地域連携事業として桐朋大学音楽学部等の協力によるコンサートを開催
 - (2) 学校教育との連携事業 詳細、別紙2-2(3)のとおり
・夏休み講座、自由研究サポートの充実、親子参加事業の開催。
・芸術鑑賞授業への対応、解説シートの作成と配布。
・職場体験、職場訪問への協力。
・学校図書館へ関連資料の配付及び情報提供を行い、利用普及に努めた。
 - (3) 生涯学習活動への対応
・展示解説(事業団主催) 8回
・団体見学者に対しての展示解説 28回
・視察 (練馬区、堺市ほか) 5件
 - (4) 協力ボランティア活動 詳細、別紙2-2(4)のとおり
・普及事業への協力、広報資料の発送作業、他館より送付の図録、年報などの資料整、実篤公園の草花の育成などの活動を実施。(登録者35名)
・協力ボランティアによるガイドツアー、歴史散歩を5月より開始。
・ボランティア活動を充実させるための、研修講座や会議を開催。
・事業団は活動の日程等の調整を中心に対応。

(5) 印刷物の編集 詳細、別紙2-2(5)のとおり

- ・特別展や武者小路実篤への理解を深めるために解説資料と、記念館事業の周知をするための広報資料を企画、編集。

(6) 広報活動

展示、普及事業の周知及び取材に対応

- ・特別展等ポスター、チラシの作成、配付 2回
- ・テーマ展、普及事業のミニポスター、チラシの作成、配付 40回
- ・ホームページの更新(年12回) 年間アクセス数 約1,938,486件
- ・調布市報 月2回
- ・ちょうふの教育 年2回
- ・報道機関等への情報提供 43件
- ・取材対応(新聞・雑誌・TVなど) 159件

(7) 他機関への事業協力

- ・他機関の展覧会開催で情報提供、作品資料の貸出(返却)作業を実施(6件)
 - *平塚市美術館、渋谷区立松濤美術館ほか「大正の鬼才 河野通勢」展 (20年2～12月)
 - * (財)そごう美術館「木喰展」 (6月27日～7月24日)
 - *毛呂山町歴史民族資料館「実篤が見た風景
～日向の村・東の村と毛呂山の人々」(10月11日～12月7日)
 - *伊丹市美術館「ドーム人間喜劇展 第2部」(11月19日～12月21日)
 - *渋谷区立松濤美術館「素朴美の系譜展」(12月9日～21年1月25日)
 - *笠間日動美術館「画家 岸田劉生の軌跡展(後期)」(2月28日～4月19日)

4. 資料収集・保存事業 詳細、別紙2-3のとおり

- (1) 収 集 計533点(寄贈386点/購入147点)
- (2) 修 復 2点
- (3) 複 製 2件 7点
- (4) 映 像 1件 ※
- (5) 貸 出 19件 ※
(内訳) 作品・資料: 5件 35点 / 写真: 14件 181点
- (6) 写 真 撮影 2件/ 写真パネル作成32点 ※
(内訳) 特別展関連資料撮影及び所蔵資料ほか: 2件 140点

(7) 資料整理・保存（収集整理以外）

・資料状態の把握

3箇所の収蔵庫内の収蔵品の状態を把握するために、定期的に点検を行う。

・図書保存箱の作成	102点
・作品収納箱の作成	3点
・額 紫外線カットアクリル入替	5点
・作品保存用マット紙の作成(岸田劉生「劉生図案画集」)	34点
・資料画像のデジタル化	300点
・写真フィルムの整理	512点
・他館発行の図録、年報整理	310点

(8) 収蔵品データベースの充実

実篤記念館が所蔵する美術作品・文字資料・映像資料及び実篤関連資料等の基礎データ整理、一般公開する収蔵品データベースの整備を継続した。

・収蔵品データベース登録数（20年度末現在）	30,987件
・図書データの追加、更新作業	2,476件
・文字データと画像データのリンク作業	300件
・美術品、原稿、書簡、写真資料データ作成・整備作業	1,460件
・画像データ整備作業	734件

(9) 燻蒸

- ・旧実篤邸内の燻蒸のために、作品・資料に関する作業を実施
- ・旧実篤邸内の燻蒸後、清掃作業を実施

(燻蒸期間：7/11～7/19)

5. 閲覧・情報公開事業

(1) 閲覧

詳細、別紙1-3のとおり ※

閲覧室の開架図書を中心とする閲覧及びレファレンス、資料照会

一般閲覧 開室日数：247日 / 利用者数：5,668名

特別閲覧 10件

資料照会（レファレンス） 2,229件

(カウンター、電話、メールを含む)

(2) 情報提供システムの運用

平成17年12月より稼働した、収蔵品の文字・画像・映像情報等を収録する情報提供システム（収蔵品データベース、情報提供システム、映像視聴システム、ホームページ）は、各種情報及びコンテンツの充実と利用促進を計った。

・収蔵品データベース 総リクエスト数 1,266,157件

6. 調査・研究事業

※

(1) 特別展関係

開催にともない、資料所蔵先や関係者へ、資料及び聞き取り調査を実施した。また、その成果は、展覧会及びパンフレットへの発表をはじめ、情報の記録作業を行った。

「実篤 美術への眼差し」展では、旧実篤コレクションで、現在、個人所蔵の作品を関係者へ照会し、調査を実施した。

「新しき村90年」展では、現在の新しき村の活動を写真により記録する現状調査のほか、資料の所蔵調査を実施した。

(2) 資料調査

実篤及び白樺同人関係資料の調査として個人所蔵の志賀直哉宛て書簡及び河野家所蔵の作品、資料の整理及び調査を引き続き実施。

小杉放庵記念日光美術館所蔵の「木村莊八日記」で白樺、新しき村の活動に関する箇所を中心に調査し、その一部を特別展で紹介。

(3) 武者小路実篤研究

武者小路実篤の著作データ及び主宰雑誌の目次データの整備を進めた。

7. その他事業

※

(1) 友の会活動

- ・友の会ニュースの発行 年6回
- ・実篤関連図書、実篤カレンダー（2009年版）等の有料頒布
- ・ミュージアムグッズの制作と頒布

- ・観梅会の開催 平成20年2月15日（日） 13:00～16:00

実篤記念館・仙川ハーモニープラザ

中庭にある新しき村より贈られた梅の花を眺めながら、邦楽と洋楽の共演コンサートを楽しんだ後、講座と会員の交流会を開催。

演奏：桐朋学園大学音楽部、邦楽アンサンブル花筏

講座：「新しき村見学記」小西聡氏（友の会幹事）

「90年を迎えた新しき村」福島さとみ（事業団学芸員）

参加者：コンサート参加者115名/交流会 24名

- ・当年度会員数 計94人（一般：85人 賛助：9人10口）

- ・事業団は事務局を担当

- ・21年4月からの物販事業を、友の会より事業団へ移行するための準備作業を行う。

- （2）学芸員実習 8月1日～8日（7日間） 2名

8月15日～22日（7日間） 1名 計3名

- （3）写真貸出・特別撮影

- ・出版、展覧会等への写真貸出、資料撮影への対応を行う。

（内訳）写真貸出：14件181点（含有料）/特別撮影：3件6点（含有料）

- （4）その他

- ・案内掲示板の広告収入を得て、自主財源を確保した。

- ・「ぐるっとパス2009」事業を受託するための、準備作業を行う。

8. 事務事業（事務局）

- （1）規約、規程等の制定及び改正

- ・給与規程の一部改正（平成20年12月19日、21年3月26日）

- ・事務局長の服務等に関する規程の一部改正

（平成21年3月26日、施行4月1日）

- ・就業規則の一部改正（平成21年3月26日、施行4月1日）

- ・特別会計規定の制定（平成21年3月26日、施行4月1日）

- ・販売事業積立金規定の制定（平成21年3月26日、施行4月1日）

- ・特別事業積立金規定の一部改正（平成21年3月26日、施行4月1日）

(2) 会計事務

- ・公益法人会計に準拠した会計システムを実施。
- ・消費税の税務申告作業を実施。
- ・会計処理 789件

(3) 理事会、監事会

- ・理事、監事 別紙3 「役員名簿」のとおり
- ・理事会
 - 第1回理事会 平成20年5月21日 開催
 - 第2回理事会 平成20年10月30日 開催
 - 第3回理事会 平成21年3月26日 開催
- ・監事会
 - 第1回監事会 平成20年5月14日 開催

(4) 運営状況の情報公開

- ・平成20年3月より、運営状況をホームページ上で公開を開始。
事業計画・予算、事業報告・決算の情報を更新。

(5) 施設

1. 実篤記念館
 - * 受付、窓口業務
 - * 休憩施設の運営 ビデオ、休憩コーナー（給茶設備）の管理運営
 - * 実篤記念館日常管理への協力
2. 実篤公園施設の活用
 - * 実篤公園の日常管理への協力
3. 旧実篤邸の保存と活用
 - * 旧実篤邸保存 邸内の作品・資料の適切な保存を図った。
 - * 旧邸燻蒸作業への協力
 - * 旧実篤邸公開への協力

詳細、別紙1-2のとおり

<凡例> 事業項目にある「※」印は、普及促進事業。

平成20年度 調布市武者小路実篤記念館使用状況

平成21年3月31日 現在

1 実篤記念館(実篤公園利用者を含む)

下段の()内の数字は前年度

月	大人(人)	内 入館	子供(人)	内 入館	計 (人)	内 入館	累計(人)	内 入館	開館 (日)	備 考
4 月	2,435 (2,294)	980 (941)	826 (756)	172 (190)	3,261 (3,050)	1,152 (1,131)	3,261 (3,050)	1,152 (1,131)	26 (26)	春季展「画をかく喜び」 3月8日～4月13日
5 月	2,921 (2,292)	1,449 (1,085)	601 (569)	146 (43)	3,522 (2,861)	1,595 (1,128)	6,783 (5,911)	2,747 (2,259)	27 (26)	春の特別展 「実篤 美術への眼差し」 4月26日～6月1日
6 月	2,069 (1,549)	824 (669)	481 (654)	39 (60)	2,550 (2,203)	863 (729)	9,333 (8,114)	3,610 (2,988)	25 (26)	文学からのイマジネーション 6月14日～7月21日
小 計	7,425 (6,135)	3,253 (2,695)	1,908 (1,979)	357 (293)	9,333 (8,114)	3,610 (2,988)	— —	— —	78 (78)	
7 月	1,264 (991)	611 (400)	269 (265)	52 (45)	1,533 (1,256)	663 (445)	10,866 (9,370)	4,273 (3,433)	27 (17)	夏休み企画 「もつとりたい武者小路実篤」 7月26日～8月31日
8 月	1,257 (1,084)	579 (540)	529 (462)	262 (244)	1,786 (1,546)	841 (784)	12,652 (10,916)	5,114 (4,217)	27 (27)	秋季展「書の世界」 ～愛蔵品と作品から～ 9月6日～10月13日
9 月	1,720 (1,325)	799 (623)	324 (326)	30 (71)	2,044 (1,651)	829 (694)	14,696 (12,567)	5,943 (4,911)	26 (26)	秋の特別展 「新しき村90年」 10月25日～11月30日
小 計	4,241 (3,400)	1,989 (1,563)	1,122 (1,053)	344 (360)	5,363 (4,453)	2,333 (1,923)	— —	— —	80 (70)	
10月	2,488 (3,172)	1,097 (677)	382 (365)	30 (26)	2,870 (3,537)	1,127 (703)	17,566 (14,199)	7,070 (5,681)	27 (26)	新しき村との共催展(たづくりギャラリー) 「新しき村美術展」 11月22日～11月30日
11月	2,777 (2,075)	1,407 (1,026)	419 (445)	36 (44)	3,196 (2,520)	1,443 (1,070)	20,762 (18,624)	8,513 (6,684)	26 (26)	実篤と戯曲 展 12月13日～1月18日
12月	1,558 (1,346)	425 (467)	325 (386)	15 (38)	1,883 (1,732)	440 (505)	22,645 (20,356)	8,953 (7,189)	24 (24)	
小 計	6,823 (6,593)	2,929 (2,170)	1,126 (1,196)	81 (108)	7,949 (7,789)	3,010 (2,278)	— —	— —	77 (76)	
1月	1,329 (1,144)	437 (515)	275 (291)	16 (34)	1,604 (1,435)	453 (549)	24,249 (21,791)	9,406 (7,738)	24 (24)	仲よき事は美しき哉 展 実篤の画讃 1月24日～3月1日
2月	2,071 (1,904)	1,031 (1,036)	385 (274)	49 (27)	2,456 (2,178)	1,080 (1,063)	26,705 (23,969)	10,486 (8,801)	24 (25)	春季展 「風景画展」 3月7日～4月12日
3月	1,609 (2,604)	709 (1,153)	407 (606)	33 (55)	2,016 (3,210)	742 (1,208)	28,721 (27,179)	11,228 (10,009)	26 (26)	
小 計	5,009 (5,652)	2,177 (2,704)	1,067 (1,171)	98 (116)	6,076 (6,823)	2,275 (2,820)	— —	— —	74 (75)	
合 計	23,498 (21,780)	10,348 (9,132)	5,223 (5,399)	880 (877)	28,721 (27,179)	11,228 (10,009)	— —	— —	309 (299)	
月平均	1,958 (1,815)	862 (761)	435 (450)	73 (73)	2,393 (2,265)	936 (834)	— —	— —	26 (25)	
日平均	76 (71)	33 (30)	17 (18)	3 (3)	93 (89)	36 (33)	— —	— —	— —	

2 旧実篤邸公開

項目	公開日数(日)	利用者数(人)	備 考
4月～6月	24	1,754	
7月～9月	22	780	※7月12日～19日はくん蒸消毒のため公開休止
10月～12月	30	1,818	
1月～3月	27	1,270	
計	103	5,622	

3 閲覧室の状況

項 目	開室日数 (日)	利用者数(人)			レファレンス受付件数(件)			備 考
		室利用者	(情報提供 システム)	(PC検索 システム)	カウンター 受付	電話・Eメール 等受付	小 計	
4月～6月	62	1,823	962	254	607	23	630	
7月～9月	63	1,187	563	203	383	27	410	
10月～12月	62	1,511	774	203	616	47	663	
1月～3月	60	1,147	538	155	483	43	526	
計	247	5,668	2,837	815	2,089	140	2,229	

平成20年度 調布市武者小路実篤記念館運営事業団事業報告

1. 展示事業

春季展 「画をかく喜び」	淡彩画がよく知られる実篤ですが、絵の具を塗り重ねる油絵はじっくり取り組めると言い、油絵でも優れた作品を残しました。 1927年に描いた最初の作品「南瓜」から、1974年の最後の作品「蔬菜図」まで、当館が所蔵する油彩画の中から、各年代の代表作を展示し紹介した。	平成20年3月8日 ～4月13日 (32日間)	大人 575 子ども 156 計 731 (4月分のみ)
春の特別展 「実篤 美術への眼差し」	実篤が、雑誌『白樺』で、ロダンをはじめセザンヌ、ゴッホら後期印象派などを本格的に日本に紹介したことはよく知られています。しかし、実篤の美術への関心はこれらに留まりません。常に新しい作品や作者に出会うことを楽しみとし、折に触れて美術書を求め、また、自ら収集も始め好きな作品を身近に置いて日々楽しみました。実篤がその著作で言及した芸術家は古今東西に及びますが、本展覧会ではこのうち実篤の収集美術品を軸に西洋美術を中心に引き上げ、レンブラントやデューラーからピカソやルオーに及ぶ関心の広がりと柔軟な感性を、それらに関する原稿や資料を交えて展示し、実篤が美術へ注ぎ続けた眼差しを紹介した。	平成20年4月26日 ～6月1日 (32日間)	大人 1,724 子ども 158 計 1,882
「文学からのイマジネーション」展 ～装幀・挿絵を中心に～	小説や物語、詩などの文学作品から想像をふくらませ、視覚化するものとして、挿絵や装幀があります。実篤作品では、親交の深かった岸田劉生、中川一政、河野通勢をはじめとした画家が、装幀・挿絵を手がけており、その原画や実際に出版された本を中心に展示し、文学と絵画が響きあう世界を紹介した。	平成20年6月14日 ～7月21日 (33日間)	大人 973 子ども 43 計 1,016
夏休み企画 「もっと知りたい 武者小路実篤」	「友情」、「愛と死」、「人生論」、様々な美術論をはじめとした執筆活動、独特の作風で親しまれている書画の制作や美術コレクション、新しき村の運動と多彩な活動をした武者小路実篤の90年の生涯を、夏休みの小・中学生にもわかりやすい解説で紹介した。また、今年度新たに寄贈を受けた小説『愛と死』の原稿を、寄贈後始めて公開した。	平成20年7月26日 ～8月31日 (32日間)	大人 592 子ども 284 計 976
秋季展「書の世界」 ～愛蔵品と作品から～	実篤は、古今東西の美術に親しみ、その作品から作家の心に触れることの喜びを感じ、自らも多くの美術品を収集していた。当館で所蔵する古美術を中心とした200点余りの実篤の愛蔵品の中から、良寛や一休宗純などの墨蹟作品と、「字をかく時は一心そのものになることを僕は何となく心がけることにしている」と語る、実篤の味わいある独特な作風の書をあわせて紹介した。	平成20年9月6日 ～10月13日 (33日間)	大人 1,526 子ども 49 計 1,575
特別展「新しき村90年」	武者小路実篤が、大正7年(1918年)に、「自己を生かす」「人間らしく生きる」社会を実現するための「新しき村」を提唱し、実践してから90周年になる。新しき村の90年間の日々の労働や生活、文学(出版)、美術、演劇などの芸術活動、そして、提唱者である実篤の村への思いを、著作や書画、新しき村会員の作品、村の活動を伝える資料により、草創期の原点を検証した。また、この10年で新たに確認された資料や、新しき村会員が村で何を、どのように生かされてきたかを記録した証言映像などを紹介した。	平成20年10月25日 ～11月30日 (32日間)	大人 1,655 子ども 41 計 1,696
「実篤と戯曲」	武者小路実篤は、自分が小説を書く時はまず会話が湧き出てくると言い、自ら戯曲作家を任じている。晩年まで多くの戯曲を執筆しましたが、その作品はユーモアあり、シリアスあり、辛辣な風刺もあり、様々な世界を描いている。そこには、人間の計り知れない力を信じるゆるぎない実篤の姿勢が根底にある。こうした数々の作品を、関連資料や舞台化の記録などで、実篤戯曲の魅力を探り紹介した。	平成20年12月13日 ～平成21年1月18日 (27日間)	大人 473 子ども 26 計 499 (12月分のみ)
「仲よき事は美しき哉」	武者小路実篤の多くの画には、「仲よき事は美しき哉」「共に咲く喜び」など実篤の詩や言葉が添えられ、人々に親しまれています。こうした画讀は、親しみやすく、そこに表された前向きな実篤の姿勢は、人を元気にさせます。所蔵品から画讀に注目して実篤作品を選び紹介した。	平成21年1月24日 ～平成21年3月1日 (32日間)	大人 1,273 子ども 56 計 1,329

春季展 「風景画展」	実篤は「自分が夢にまで見てまでにかきたいのは山である」「かきたいもの」と書き、制作のために滞在した場所や旅先で様々な山と対峙し、風景画を描いてきました。普段見る機会が少ない実篤の風景画と、あわせて、愛蔵品や交友のあった画家たちの、さまざまな風景画をあわせて展示した。	平成21年3月7日 ～平成21年4月12日 (32日間)	大人 650 子ども 31 計 681 (3月分のみ)
特別展開連事業 「新しき村美術展」(新しき村と共催) 会場:たづくり南ギャラリー	新しき村の歴史ある「新しき村美術展」を、特別展開連事業として、(財)新しき村と共催で実施した。新しき村美術館所蔵の実篤や白樺同人らの作品のほか、新しき村会員の作品を紹介し、また、村の歴史を紹介する写真パネルや年譜、村に関する映像を上映した。	平成20年11月22日 ～30日 (9日間)	入場者数 760 (大人・小どもの 内訳未測定)

2 普及事業

(1) 講座・講演会等活動

事業名	内 容	講 師	開催日	場 所	参加者数
講座 「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう」 (春)	実篤がよく描いた野菜や花を、日常なじみの少ない墨と絵の具で描き、実篤がどのように描いていたかを体感する機会とした。	事業団職員	4月4日・5日	実篤記念館	66
読書講座「原田宗典、武者小路 実篤を読む」(全3回)	実篤の戯曲を原田氏がビートルズの曲に合わせた朗読で実篤作品に親しみ、活字だけでは気付かなかった実篤文学の魅力を発見し、身近に感じる機会とした。	原田 宗典	5月10日・ 17日・24日	東部公民館	79
自然観察会(初夏) 深大寺と実篤公園	国分寺崖線に位置する深大寺周辺と実篤公園を歩き、段丘の湧水が野川に注がれる自然豊かな地形を体感し、そこに見られる植生の特徴や人の生活との関わりを学んだ。	富田 広	6月1日	深大寺周辺 から実篤公園	26
講座 「作ってみよう！～梅ジャム」	新しき村から贈られた記念館中庭の梅は、栽培用の梅で毎年多くの実をつける。この梅の実で、収穫と梅ジャム作りを体験した。	事業団職員	6月14日・15 日	実篤記念館 東部公民館	41
美術講座 「大正の鬼才、河野通勢」(全2回)	河野通勢は、大正から昭和戦前にかけて活躍し、実篤や白樺同人とも親しかった画家。渋谷区松涛美術館で開催している「大正の鬼才 河野通勢」を機会に、河野通勢について学び、展覧会では独特な緻密な描写や挿絵など作品を鑑賞した。	瀬尾 典昭	6月20日・ 27日	東部公民館 松涛美術館	43
講座 「作ってみよう！私だけの本」	夏休みの小・中学生を対象にした講座で、本文から製本まで、3回の講座で、世界でたったひとつの自分の本を作ることを経験した。	田尾明敏 岡野暢夫	8月2日・ 3日・ 8日	実篤記念館 東部公民館	45
講座 「もっと知りたい！特別編～実篤公園の湧き水調べ」	実篤公園の湧き水と池の水を採取し、試薬キットを使って実験し、それぞれの特徴と違いを調べた。	市職員	8月10日 (2回)	実篤記念館 実篤公園	17
講座 仙川歴史散歩	子どもを中心とした夏休み企画事業として、実篤ゆかりの仙川(仙川一里塚・実篤ゆかりの店・桐朋学園・神代高校・和光堂・長善館・仙川寺町等)の歴史散歩とした。	山岡 博	8月14日	仙川駅～ 実篤記念館	13
講座 「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう」 (夏)	実篤がよく描いた野菜と花等を題材に、普段あまり使わない筆と墨で和紙に描き、実篤の描き方を体感した。	事業団職員	8月15日・ 16日	実篤記念館	82
講座 「実篤に挑戦！～うちわに筆と墨で絵をかこう」	実篤がよく描いた野菜と花等を題材に、筆と墨でうちわに描き、実篤の描き方を体感した。	菱沼陽土女	8月17日 (2回)	実篤記念館	32
講座 「もっと知りたい！～自由研究サポート」	小・中学生を対象に、記念館の資料・図書・パソコン・情報システム、実篤公園の自然、更に地域の歴史など、夏休みの自由研究をサポートした。ボランティア等の協力を得て「ワークシートを利用した記念館や公園の探求」や「実篤公園の植物を使った工作」、「実篤公園周辺の動・植物、昆虫」、「調布の歴史」、「実篤や白樺派について」などの調べ方、参考書のアドバイスを実施した。	事業団職員 協力ボランティア	8月7日・14 日・21日・28 日	実篤記念館	118

読書講座 『『新しき村に就ての対話』を読む～新しき村の出发点～』	実篤の日記などから、新しき村の原型となる構想を、設立の10年前から持っていたこと、また、当時の歴史的状況の中で思索するだけでなく、理想を実践しようと行動したことを、現在の閉塞状況にある若者との対比を交えて、「新しき村運動」が現代社会でも評価されるべき実践であることを学ぶ。	瀧田 浩	9月20日	東部公民館	15
展示解説 「書の世界～愛蔵品と作品から」展	武者小路穰氏に、美術史研究者として、また、実篤に近く接した家族として、「書の世界～愛蔵品と作品から」展を見ながら、作品の解説とそれらにまつわるエピソードを交え、実篤の書の魅力を探った。	武者小路 穰	10月4日	実篤記念館	42
実篤公園自然観察会 「実篤公園から野川沿いを歩く」	春の観察会の続きとして、実篤公園から国分寺崖線に沿って野川まで歩き、実篤公園の地形の特徴を学ぶ。また、実篤公園からの湧水が、入間川から野川へと流れ、川に沿った民家や畑、若葉町緑地、弁天山、明照院、槽峯神社、東野川公園等を歩き、木々や草花の名前の由来や花や葉のや形や香りなどに注目して観察した。	富田 広	11月8日	実篤公園 及び 周辺緑地	20
展示解説 特別展「新しき村90年」	秋の特別展「新しき村90年」の関連行事として、90年の村の歩みを展示資料や写真を中心に紹介。初公開の木村莊八日記や囃野社関連の資料なども、時代背景やエピソードを交えて解説した。	事業団職員	11月8日	実篤記念館	22
「新しき村」バス見学会	秋の特別展「新しき村90年」の関連行事として、埼玉県毛呂山町の「新しき村」と、毛呂山町歴史民俗資料館開催の「実篤が見た風景～日向の村、東の村と毛呂山の人々～」展も見学した。毛呂山町の人々が今でも実篤を懐かしく想い、描いてもらった画を大事にしていることや、実篤など創立当時の関係者たちの思い出を体感しながら、現在の「新しき村」の生活の様子を学んだ。	石川 清明 事業団職員	11月12日	埼玉県 毛呂山町	37
記念講演会 「新しき村と実篤の魅力」	秋の特別展「新しき村90年」の関連行事。今、テレビや雑誌で活躍中の脳学者・茂木健一郎氏から、新しき村に何度か出かけた体験や実篤の小説家としての解釈、新しき村や村で働く人たちの印象等を茂木氏自身の考えを伺う機会とした。	茂木健一郎	11月23日	文化会館た づくり 8階映像シア ター	91
親子工作講座 「木の実飾りを作ろう」	実篤公園の植物を使って、クマ、ウサギ、リス等の動物を作り、身近な自然に触れ、実篤や記念館に親しむ機会とした。	渡邊由美子 ねこじやらしの 会	11月29日	実篤記念館	15
製本講座(全2回)	本作りの基礎を学びながら、手作りの本を完成させ、本に親しむ機会とした。文庫本製本、平綴じ製本実施。	岡野暢夫	1月29日・ 2月3日	東部公民館	38
朗読会「実篤を聴く」パート8 「仙川の実篤」	新しき村90周年を記念したテーマで、新しき村の歩みをたどりながら実篤や新しき村の会員等の作品と利上げ鑑賞した。 朗読作品:実篤「新しき村の精神」「新しき村の信仰」、詩「勝手にしやがれ」「我等の仲間」「仲よくくらすことは」「我等は楽しき哉」「毎日何か仕事をし」ほか	演出 川和 孝 出演 上村隆弘 河崎早春 中野順二 松尾智昭 宮崎敦吉	3月14日 (2回)	文化会館た づくり 8階映像シア ター	68

(2) 地域連携事業

事業名	開催日・会場	連携・協力団体	事業内容	参加者数
文学コンサートin実篤記念館	4月12日 実篤記念館	桐朋学園大学 音楽学部	実篤公園に桜が咲く季節、地元仙川の桐朋学園大学と連携して、恒例のコンサートを開催。今回は、歌とピアノにより、新しき村創設期に参加した、脚本家・小国英雄が執筆した映画の音楽を取り上げた。	91
友の会交流会「観梅の集い」	2月15日 実篤記念館 仙川ハーモニープラザ	桐朋学園大学 音楽学部 邦楽アンサンブル 花筏	中庭にある新しき村から贈られた梅の花を眺めながら、邦楽と洋楽の共演コンサートを楽しんだ後、新しき村90年をテーマにミニ講座と交流会を開催した。	コンサート 115 交流会 24

(3) 学校教育との連携事業

事業名	開催日・会場	連携・協力団体	事業内容	参加者数
芸術鑑賞	5月27・28・30日 実篤記念館	若葉小学校	特別展「実篤 美術への眼差し」鑑賞	6年生 105
芸術鑑賞	5月27日 実篤記念館	桐朋学園女子高校	特別展「実篤 美術への眼差し」鑑賞	8
美術授業	6月11・13・17日 実篤公園	若葉小学校	実篤公園での写生	5年生 104
校外学習	6月10日 実篤記念館	滝坂小学校	実篤公園の自然と地形など	64
校外学習	6月27日 実篤記念館	第五中学校	調布を知る	1年生 6
美術部校外活動	7月24日 実篤公園	第五中学校	実篤公園での写生	16
職場体験	9月9日～12日 実篤記念館	第八中学校	職場見学と学芸員の仕事	2年生 3

(4) 協力ボランティア事業

1) 協力ボランティア活動

ボランティア登録者 35人

主な活動事業	内 容	活動日数	参加のべ人数
収蔵資料整理事業	収蔵資料、寄贈資料整理	44	166
広報資料発送作業	記念館刊行物・ポスター・チラシ等発送	32	121
開催事業補助作業	講座、講演会等の受付、会場整理	41	190
ボランティア研修会	展示解説、講演会研修参加	10	107
ボランティア会議	ボランティア活動に関する打合せ	4	51
植物ボランティア	記念館・公園の草花植え込み作業等	40	142
ガイド関連作業	記念館・公園・旧邸のガイド	13	66
旧邸関連作業	旧邸清掃他	1	4
(計)		185	847

2) ボランティアガイドツアー

実施月	回 数	参加者数
5 月	1	10
6 月	2	6
7 月	休み	0
8 月	休み	0
9 月	2	11
10 月	2	8
11 月	2	21
12 月	1	14
1 月	1	8
2 月	休み	0
3 月	1	13
(計)	12	91

3) 協力ボランティア ステップアップ講座

研修名	内 容	講 師	開催日	場 所	参加者数
文化財における虫害について	文化財の虫害についての基礎知識を学び、害虫の生態や虫害の実例を標本を観察し、害虫の早期発見や施設侵入防御等の駆除方法を学び、記念館資料の保護について理解を深めた。	文化財虫害研究所 小峰幸夫	2月5日	実篤記念館	23
視察研修会	今回は、早くからボランティアガイドツアーを実施している美術館を訪ね、ガイドツアーに参加した体験を生かすための見学会を実施した。	川村記念美術館ボランティア 事業団職員	2月19日	川村記念美術館 (千葉県佐倉市)	23

(5) 印刷物の編集

資 料 名	種 別	対 象	発 行	部 数	備 考
実篤 美術への眼差し	春の特別展解説書	一般	平成20年4月	1,500	有償頒布
ようこそ 実篤記念館へ	子ども用 案内	子ども	平成20年6月	10,000	
実篤記念館 館報	15号	一般	平成20年9月	3,000	
新しき村90年 人間らしく生きる	秋の特別展解説書	一般	平成20年10月	1,500	有償頒布
実篤記念館 館報	16号	一般	平成21年3月	3,000	
もっと知りたい 武者小路実篤No.28～30	解説シート	一般・子ども	平成21年3月	各号5,000	
平成21年度 展示案内	年間日程表	一般	平成21年3月	20,000	

3. 資料収集・保存事業

(1) 資料収集

資 料 区 分	寄 贈 (点)	購 入 (点)	合 計 (点)	備 考
図書・雑誌	263	147	410	
関連作品・資料	123	0	123	
(計)	386	147	533	

＜主な収蔵品＞ 武者小路実篤「愛と死」原稿、新しき村関連原稿4点
 武者小路実篤書「もう一步」「意力」
 武者小路実篤書簡 計13点、宛て書簡計45点

(2) 修復

・作品修復 : 2 点 武者小路実篤画 静物「日日是好日」
 武者小路実篤愛蔵品 沈石田画「山水図」

(3) 複製

・資料複製 : 原稿 2 点 武者小路実篤「愚者の夢」原稿(2箇所)
 : 写真 5 点 個人所蔵写真の複写

(4) 映像

記録映像編集 1件 旧実篤邸耐震補強工事の記録映像を編集、作品化
 作品タイトル: 「仙川の家」を後世に残すためにー旧実篤邸耐震補強工事の記録ー

(5) 資料貸出

資 料 種 別	件 数	点 数	備 考
作品・資料	5	35	このほか、19年度貸出分の184点が返却。
写真資料	14	181	印刷物・展示用
(計)	19	216	